

1. 科目名 (単位数)	心理学実験／心理学基礎実験 (4 単位)		3. 科目番号	EDPS2301
2. 授業担当教員	成本 忠正・新井 洋輔			
4. 授業形態	講義・実習(グループ活動)・演習(グループ活動)・ディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	「統計学」および「心理統計法」の単位を履修した後に履修することが望ましい。			
7. 講義概要	<p>心理学を研究するための基礎となる各手法をとり上げ、生理、記憶、学習、認知、人格、社会等、心理学の主要な分野の知識を身につけながら、それらの知識や考え方に基づく科学的レポートの書き方を学ぶ。 実験等の体験を通して、心理学の理論を机上に終わらせることなく、身近なものとして体得することができる。 なお本科目は認定心理士の資格科目であり、受講生は規定数以上の実験等に参加し、レポートを提出することが義務付けられている。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実験等の演習を通して、心理学を含む社会科学全般に必要な不可欠である各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し、身につける。 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解する。 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理することができるようになる。 4. 目的、方法、結果、考察から成る心理学研究レポートの記述の仕方を習得し、心理学的事象について、統計処理の結果を用いて、説明、解釈できるようになる。 			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	各実験を行った後に、その実験に関するレポートを提出する。 レポートの作成を通じて実験内容についての理解を深め、またレポート作成のルールを理解する。			
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】授業中に適宜指示する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験等の演習を通して、各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し身につけていること 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解していること 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理できること 4. 目的、方法、結果、考察から成る標準的な心理学研究レポートの記述の仕方を習得していること <p>○成績評価の評定方法</p> <p>学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4以上の出席)を前提として、授業態度(授業およびグループ発表への積極的参加)30%、課題レポート70%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>教科書に指定している『教材心理学』を用いて実験を行いますので、初回の授業までに購入し、毎回忘れずに持ってきて下さい。第1回目の授業で『心理学基礎実験の手引き』を配布します。必ず初回の授業に出席し、手引きを受け取るとともに、授業の注意事項をよく聞き、その後の実験実習に備えること。この授業は全回出席を前提として授業を進めます。やむを得ぬ理由で遅刻・欠席する場合は必ず本人が事前に担当教員に連絡すること。</p> <p>認定心理士の資格科目であり、6種類以上の実験に参加し、それぞれの実験についてレポートを提出することが義務づけられています。高い緊張感を持って授業に望み、学習目標を達成して下さい。また、携帯電話を授業中に操作しないこと。他の受講生に迷惑をかける行為(私語、居眠り、グループ活動に参加しないなど)をつつしむこと。</p>			
13. オフィスアワー	詳細な時間は授業開始後に指示します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	心理学実験とは？ 実験方法を理解する。	事前学習	心理学の研究方法をリサーチする。	
		事後学習	心理学研究における実験法を理解する。	
第2回	実験レポートの書き方・構成を学ぶ	事前学習	科学レポートの構成についてリサーチする。	
		事後学習	授業内で学んだ内容をまとめる。	
第3回	心理統計法 (t 検定・分散分析)	事前学習	平均値の比較・分散の比較方法について確認する。	
		事後学習	実験で用いられる心理統計法を復習する。	
第4回	心理統計 (相関分析・カイ 2 乗検定)	事前学習	量的変数の関連性・質的変数の連関性の検討方法を予習する。	
		事後学習	調査で用いられる心理統計法を復習する。	
第5回	実験① 画像的記憶と文脈：実験計画の立案	事前学習	実験のどこに注意を払うべきか確認する。	
		事後学習	実験手続きを復習する。	
第6回	実験① 画像的記憶と文脈：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。	
		事後学習	実験内容を復習する。	
第7回	実験① 画像的記憶と文脈：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSS の使い方を復習しておく。	
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。	

第8回	実験① 画像的記憶と文脈：実験レポートの作成	事前学習	統計処理の結果をまとめる。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第9回	実験② ミュラーリヤー錯視：実験計画の立案	事前学習	実験のどこに注意を払うべきか確認する。
		事後学習	実験手続きを復習する。
第10回	実験② ミュラーリヤー錯視：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。
		事後学習	実験内容を復習する。
第11回	実験② ミュラーリヤー錯視：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSSの使い方を復習しておく。
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。
第12回	実験② ミュラーリヤー錯視：実験レポートの作成	事前学習	科学レポートの書き方を復習する。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第13回	実験③ 感覚記憶：実験計画の立案	事前学習	前回までの実験を踏まえ、実験のどこに注意を払うべきか確認する。
		事後学習	実験手続きを復習する。
第14回	実験③ 感覚記憶：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。
		事後学習	実験内容を復習する。
第15回	実験③ 感覚記憶：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSSの使い方を復習しておく。
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。
第16回	実験③ 感覚記憶：実験レポートの作成	事前学習	科学レポートの書き方を復習する。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第17回	実験④ 学習転移：実験計画の立案	事前学習	実験のどこに注意を払うべきか確認する。
		事後学習	実験手続きを復習する。
第18回	実験④ 学習転移：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。
		事後学習	実験内容を復習する。
第19回	実験④ 学習転移：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSSの使い方を復習しておく。
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。
第20回	実験④ 学習転移：レポートの作成	事前学習	科学レポートの書き方を復習する。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第21回	実験⑤ カテゴリ認知：実験計画の立案	事前学習	前回までの実験を踏まえ、実験のどこに注意を払うべきか確認する。
		事後学習	実験手続きを復習する。
第22回	実験⑤ カテゴリ認知：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。
		事後学習	実験内容を復習する。
第23回	実験⑤ カテゴリ認知：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSSの使い方を復習しておく。
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。
第24回	実験⑤ カテゴリ認知：実験レポートの作成	事前学習	科学レポートの書き方を復習する。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第25回	実験⑥ 語の記銘：実験計画の立案	事前学習	実験のどこに注意を払うべきか確認する。
		事後学習	実験手続きを復習する。
第26回	実験⑥ 語の記銘：実験の実施	事前学習	実験手続きについて不明点があれば質問内容を整理しておく。
		事後学習	実験内容を復習する。
第27回	実験⑥ 語の記銘：実験結果の整理	事前学習	どの統計手法を使うのか考え、SPSSの使い方を復習しておく。
		事後学習	統計処理の結果をまとめる。
第28回	実験⑥ 語の記銘：実験レポートの作成	事前学習	科学レポートの書き方を復習する。
		事後学習	実験レポートを完成させる。
第29回	自由実験：グループ発表（1）	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	発表で指摘された点をどのように修正するか、今後の展望を考える。
第30回	自由実験：グループ発表（2）	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	発表で指摘された点をどのように修正するか、今後の展望を考える。

